

創域理工学部 社会基盤工学科 履修モデル

2026年4月1日

	1年次	2年次	3年次	4年次
	社会基盤工学の基礎を学ぶ	専門科目の選択肢を広げる	専門領域を深く学ぶ	集大成としての卒業研究
	社会基盤工学を学ぶための基礎力の養成を目的に数学(微分積分学や代数学)、物理学、化学、コンピュータなどの科目を履修します。必修で測量学や材料力学を学び、演習として土木計画学実習を行うなど早い段階から専門性も養成します。	必修で土質力学や水理学、図学、構造力学実験、コンクリート工学実験を学びます。また専門選択科目が増えており、自分の学びたい社会基盤工学分野の科目を体系的に履修することが可能になります。これにより、広い領域をカバーする社会基盤工学分野の基礎力を養成します。	いっそう専門性が高まると共に交通計画、都市の計画と設計など現実の社会を視野に入れたテーマを取り上げます。専門基礎の必修は水理学実験、土質工学実験、環境工学実験、コンクリート構造物の設計とより実際のになります。各分野について、より専門性の高い発展的な応用力を養成します。	各研究室に所属して卒業研究に取り組みます。交通施設、エネルギー施設、防災/環境施設などの建設から維持管理に直結する知識および研究、あるいは水系、地盤系、構造系、材料系、測量系、計画系、環境系などの学問追求に取り組みます。
全分野共通	<ul style="list-style-type: none"> ● 土工学概論 ● 微分積分学1, 2 ● 代数学1, 2 ● コンピュータ概論 ● プログラミング演習(基礎) ● 英語 △ 科学と土木 △ 化学 □ 先端建設技術論 □ 応用数学3 □ 人間科学(教養) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土質力学1 ● コンクリート工学 ● 水理学1 ● 環境工学概論 ● 構造力学実験 ● コンクリート工学実験 ● 図学 ● プログラミング演習(応用) ● 英語 □ 応用数学1 □ 応用数学2 □ 応用数学4 □ 人間科学(教養) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水理学実験 ● 土質工学実験 ● 環境工学実験 ● コンクリート構造物の設計 □ 現代における土木技術の役割と展望 □ 建設マネジメント □ 社会基盤ゼミ(6年一貫) □ 社会基盤ゼミ □ データサイエンス・AI応用基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業研究1, 2
地盤・構造分野	<ul style="list-style-type: none"> ● 材料力学1 △ 物理学 △ 一般力学1, 2 	<ul style="list-style-type: none"> □ 土木材料学 □ 材料力学2 □ 材料力学演習 □ コンクリート構造工学 □ 土質力学演習1, 2 □ 土質力学2 □ 維持管理工学 	<ul style="list-style-type: none"> □ 構造力学1, 2 □ 橋梁工学 □ 土木基礎工学 □ トンネル工学 □ 港湾工学 □ 地震工学 □ 地盤強化改良工学 □ 地盤防災工学 	
水工・環境分野		<ul style="list-style-type: none"> □ 水理学演習1 □ 水理学2 □ 水理学演習2 	<ul style="list-style-type: none"> □ 環境施設工学 □ 環境水理学 □ 水文気象学 □ 環境計画論 □ 防災水工学 	
計画分野	<ul style="list-style-type: none"> ● 測量学 ● 土木計画学実習 □ リモートセンシング 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土木計画学 ● 測量学実習 	<ul style="list-style-type: none"> □ 公共政策 □ 交通計画 □ 都市の計画と設計 □ 交通システムの行動分析 □ 交通システムの設計学 □ 景観/空間デザイン概論 □ 国土情報工学 	

●:必修, △:選択必修, □:選択

※ 実際の履修にあたっては「学修簿」「履修の手引」を確認して下さい。

2026年度入学以降に対応